

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 22-81
補助事業名 平成22年度 公設工業試験研究所の設備拡充補助事業
補助事業者名 岡山県

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

本県では、産学官の強力な連携により、「ミクロものづくり岡山創成事業」として、県内の多数の中小企業が有する優秀な機械加工・ものづくり技術の更なる強化をはかっている。そして、これらの優れた技術を適用することで、航空機・自動車産業やロボット産業、高度医療機器産業などの次世代の本県産業の中核を担う産業群の形成を目指している。

上記の産業においては、これらに用いられる各種部材や電子制御機器について、高温下、低温下あるいは急激な温度変化を伴う環境下や高湿度下における高い耐久性と動作の信頼性が要求されている。これらの耐久性や信頼性については、恒温恒湿槽に格納しての機器の動作試験により評価するのが一般的であるが、大型の機器の試験が可能であり、かつ、機器を動作させながら（機器の発熱を伴う状態で）恒温恒湿状態を保つことができる装置は高額であり、中小企業では導入することが難しいのが現状である。

そこで、岡山県工業技術センターに大型恒温恒湿槽を導入し、広く企業への機器利用をはかっていくことで、中小企業の技術力の向上や生産効率の向上、新たな事業展開を支援し、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

岡山県工業技術センターに大型恒温恒湿槽を導入した。

導入後、工業技術センターHPや技術情報誌に掲載して広報するとともに、利用可能性の高い企業に個別にご案内のEメールを送付することで、県内の機械製造業関連企業への利用を促し、加工技術の向上や開発効率の向上を支援した。

2 予想される事業実施効果

本事業により、大型恒温恒湿槽を岡山県工業技術センターに導入し、県内の機械製造業関連企業への利用を促すことにより、地域の中小機械工業の製品・部品の中でも特に発熱量の大きな機器（例えば航空機・自動車産業やロボット産業等に用いられる各種部材や電子制御機器等）の恒温恒湿試験に対応でき、航空機・自動車産業やロボット産業分野等における部品・製品の高付加価値化・差別化が図れる。また、自社で

の高額設備導入コストの抑制や生産部材の耐久性を高めることができることから、部材のコストダウンや高機能化等に大いに役立つことが予想される。更には、これらの製品開発技術を利用した新たな事業展開も予想され、もって岡山県の機械製造業の振興が期待される。

3 本事業により導入した設備

大型恒温恒湿槽 (<http://www.pref.okayama.jp/sangyo/kougi/setsubi/bycicle.htm>)

設置場所：【岡山県工業技術センター】

温度 $-75\sim 180^{\circ}\text{C}$ 、湿度 $10\sim 98\% \text{ r h}$ の制御範囲で恒温恒湿耐久試験を行うことができる装置。試験体からの発熱負荷を最大 500W まで許容。







4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 岡山県工業技術センター （オカヤマケンコウギョウギジュツセンター）

住所： 701-1296

岡山県岡山市北区芳賀5301

代表者： 所長 西田典秀（ニシダノリヒデ）

担当部署： 研究開発部 計測制御研究室

（ケンキュウカイハツブ ケイソクセイギョケンキュウシツ）

担当者名： 研究員 下山力生（シモヤマリキオ）

電話番号： 086-286-9600

FAX： 086-286-9630

E-mail： kouginfo@pref.okayama.lg.jp/

URL： <http://www.pref.okayama.jp/sangyo/kouginfo/>